

Q9

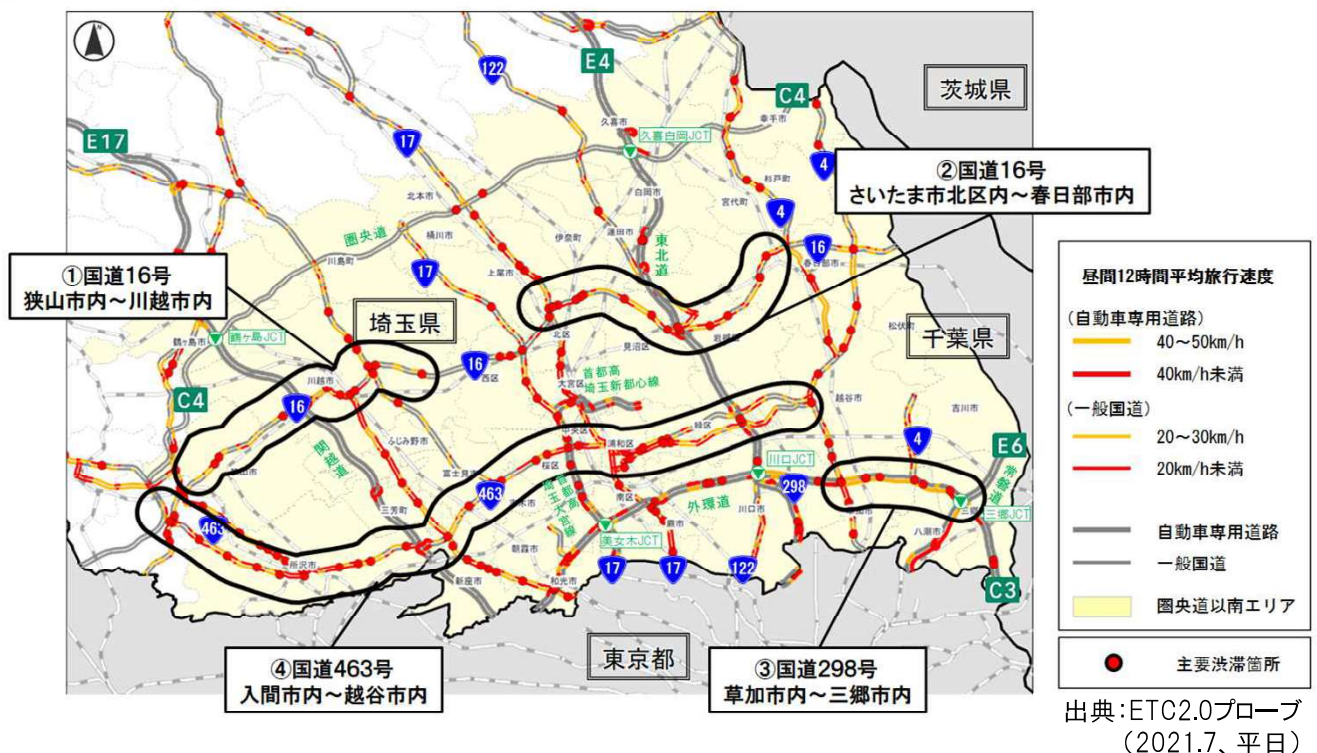
核都市広域幹線道路の整備により、埼玉県南部の一般道で生じている渋滞は解消されるのでしょうか？

A9

- 圏央道以南エリアでは、国道16号、国道463号、国道298号等、東西方向の幹線道路で速度低下が顕著であり、交通容量が不足していることを確認しています。
- 新しい道路が整備されると、東西方向の幹線道路から交通が転換され、交通渋滞が緩和することが期待されます。
- 今後、最大限の効果が発現するよう、計画・検討を進めてまいります。

○東西軸では、国道16号の狭山市内～川越市内(①)とさいたま市北区内(国道17号)～春日部市内(国道4号)(②)、国道298号の草加市内(国道4号)～三郷市内(常磐道)(③)、国道463号においては入間市内～越谷市内(④)の広い範囲で速度低下が顕著である。

■昼間12時間平均旅行速度



出典:第1回核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
地元検討会資料 一部抜粋